

慈恩寺中だより

学校教育目標「自主自立をめざす生徒」 キーワード「努力夢現」「挑戦と煌」



やさしい煌祭（きらめき祭）



校長 高波 國夫

10月26日（土）の煌祭。●●先生に「今日、煌祭はどうでしたか？」と聞いたところ、「やさしい煌祭でしたね」「みんなの笑顔がいっぱい煌いていました。合唱コンクールももちろんでしたが、有志団体の発表もよかったです。個性がキラキラと輝いていて、互いに認め合う称賛の声や温かい拍手がたくさんありました。」と感想を語ってくれました。なるほど～。本当にこんなに温かく優しい雰囲気の全校での行事を初めて体験しました。本当にいい時間をありがとうございました。実行委員をはじめ、パートリーダー、指揮者、伴奏者、生徒会役員、有志団体、合唱を披露してくれた生徒のみなさん、ご来場いただいたみなさん、先生方、本当にありがとうございました。

実は私は、秋の夜長に合わせて、今、松下幸之助さんの本にハマっております。どの本も面白く、特に、『【漫画】松下幸之助5つの原則 仕事でいちばん大切なこと』（PHP研究所監修）は読みごたえがあり、何度も読んでいます。その中のエピソードとして、松下幸之助さんは、会社の面接の最後に

「君は運がいいか？」

と聞いたそうです。もし、あなたが聞かれたら、どう答えますか？



松下幸之助さんは「運がいい」と答えた人を採用していたそうです。人が見ると、運がいいと思えない状態であっても、自分は運がいいと思える前向きな考えができることが素晴らしいと考えていたそうです。非常に面白いエピソードです。また、その本の中で「人間観」という言葉も出てきました。「人間はダイヤモンドの原石のような存在である」とも。人を肯定的にみる大切さを感じました。

今、ちょうど三者面談が始まりました。ある先生が面談での様子を教えてくださいました。その先生は面談中、生徒に

「去年できなかったけど、今年できるようになったことは？」

と聞いたそうです。生徒は、悩みながら、〇〇と▲▲ができるようになりました。その他にも・・・とうれしそうに語ってくれたそうです。それを見て、先生も保護者もうれしくなり、一緒に喜び合ったそうです。そして、先生が「今後はどうする？」と聞いたところ、生徒は目を輝かせ、新たな意欲を語ってくれたそうです。これもいいエピソードですね。子どもも大人も得手不得手があります。しかし、去年できなかったことが、できるようになったら、こんなに素晴らしいことはありません。今回の煌祭のように、大人も子どもも、その人のよさを、置かれた状況を認めた上で、過ごしていけるといいですね。

